

# 「平成29年度 先進超々臨界圧火力発電技術開発」講演会 を開催いたしました！

2017年12月1日に港区虎ノ門の発明会館ホールにおいて、経済産業省の補助事業及びNEDOの助成事業の結果得られた先進超々臨界圧火力発電の要素技術開発について講演会を開催し、約150名の聴講者が熱心に聴講されました。

## 得られた成果を一部ご紹介

- ◆ 目標効率（46％）を達成する圧力温度条件およびシステムの成立性見通しを確認。
- ◆ ボイラの製造技術（溶接技術、曲げ加工技術）を確立。
- ◆ 約13,000時間の実缶試験を通じ、ボイラ材料、タービン材料、高温弁等の信頼性を確認。
- ◆ 開発技術は、既設火力の改修のオプションとしても有効。

全ての講演終了後の全体質疑応答では、会場から多くの質問が寄せられるなど、大変盛況な講演会となりました。



## ～プログラム～

【開会挨拶】 元 横浜国立大学 教授  
火力高効率発電技術検討委員会 委員長 秋葉 雅史 氏

【講演1】 プロジェクト概要説明「目的/目標、全体スケジュール、実施体制、開発概要、成果概要 等」  
(一社) 高効率発電システム研究所 福田 雅文 氏

【講演2】 研究項目①システム設計「基本システム構成、候補材料、各種設計比較、経済性/二酸化炭素排出量 等」  
東芝エネルギーシステムズ(株) 高橋 武雄 氏

【講演3】 研究項目②ボイラ材料技術開発「材料開発目標、過熱器管/再熱器管/厚肉大径管等の材料開発 等」  
新日鐵住金(株) 仙波 潤之 氏

【講演4】 研究項目③ボイラ要素技術開発「過熱器、再熱器および蒸気配管の製造技術開発検証」  
三菱重工業(株) 橋本 憩太 氏

【講演5】 研究項目④タービン材料/要素技術開発「開発課題と目標、候補材料、ロータ構造、材料開発、製造技術開発 等」  
東芝エネルギーシステムズ(株) 須賀 威夫 氏

【講演6】 研究項目⑤高温弁要素技術開発「高温弁の役割、開発課題と目標、要素技術開発、実缶試験 等」  
富士電機(株) 高野 哲 氏

【講演7】 研究項目⑥実缶試験「目的、概要、設備設計/製作、運転の概要と成果 等」  
(株) IHI 大熊 喜朋 氏

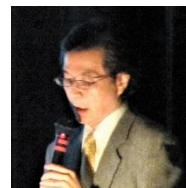
【講演8】 研究項目⑦回転試験「目的、概要、設備設計/製作、試験の概要と成果 等」  
三菱日立パワーシステムズ(株) 中野 隆 氏

～全体を通しての質疑・応答～

【閉会挨拶】 (一社) 火力原子力発電技術協会 専務理事 中澤 治久



【開会挨拶】  
秋葉 雅史 氏



【講演1】  
福田 雅文 氏



【講演2】  
高橋 武雄 氏



【講演3】  
仙波 潤之 氏



【講演4】  
橋本 憩太 氏



【講演5】  
須賀 威夫 氏



【講演6】  
高野 哲 氏



【講演7】  
大熊 喜朋 氏



【講演8】  
中野 隆 氏

## < 参加者の声 >

- ◆ 講演の序盤にプロジェクト概要とシステム設計、後半に各要素技術を説明いただき、大変理解しやすい講演構成であった。
- ◆ 今後の電力需給が不透明な中、このような最新火力技術を聴講することができ、大変勉強になった。今後の業務に活かしたい。
- ◆ 今後も定期的な進捗発表を期待している。

～その他、多くの貴重なご感想・ご意見をいただきました。ありがとうございました。～